

私達の長穂

No. 250

【編集発行】
住みよい長穂をつくる協議会・長穂公民館

師走号 平成18年(2006年)12月1日



第33回 長穂地区 産業文化祭



出会い、ふれあいの場

産業文化祭終わる

恒例の地区産業文化祭が皆様方のご協力により盛会に終わりました。

今年で、三十三回となりましたが、以前は農産物品評会として、毎年十二月十日前後に開催されていきました。

この産業文化祭も、一年間の生産活動の結果と学習の成果を発表する場として、毎年充実してきました。

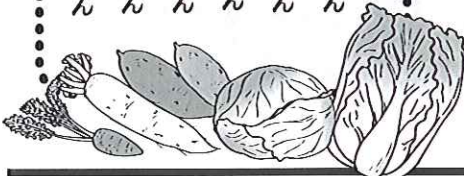
小学校PTAのフリーマーケットがありませんでした。今年はお餅つき大会となり、なかなか声が弾んでいました。

体育館入り口での、茶道クラブの皆さんの和服姿も見えませんでした。おしとやかなもてなしから一変、今年はおどろきと『炊き込みご飯』のもてなしに変身。美味しくいただきました。

園児、児童生徒、クラブの皆さんの学習発表会と祭りも盛り上がり、野菜の競売、大もちまき大会が終わると、あっという間の会場整理でした。皆さんお疲れ様でした。

★農作物品評会★

- 金賞 黒大豆 重安 孝さん
- 銀賞 大根 萩原 静枝さん
- 銅賞 フロッキー 廣林 紀子さん
- 銅賞 人参 沢田 精子さん
- 特別賞 サツマイモ 寺尾 精二さん
- 努力賞 里芋 魚谷 耕治くん



炭倉山に登ろう!

炭倉山年頭登山を今年も行います。

日時:平成19年1月1日(祝)

ご家族、ご友人お誘い合わせの上お越しください。
※詳しくは後日配布されるチラシをご覧ください。

音楽祭

勝間小の合唱がはじまる前に、会場のロビーに移動しました。会場のロビーに着くとすぐに、はつぴにきがえて、リコーダーの準備をして並んでステージの裏に移動しました。

ステージの裏に着くと長穂小の前に和田小の合唱がありました。

和田小の合唱が終わると、長穂小がステージに上がって、リコーダー奏のふるさとと、赤とんぼをふきました。ふるさとをふいているとちゅうで、三かしよまちがえたけど赤とんぼは、けつこううまくできました。

次に、穂樽太鼓をしました。穂樽太鼓をしているとちゅうでついでいけなくなりそうになりましたが、うまくできてよかったです。

穂樽太鼓の最後の辺が少し速くなりましたが、練習よりも上手にできました。



11月16日文化会館にて

六年 中村 恭将



ちよっとひとやすみ

10月24日ナベヅルが飛来しました。

☆がんばりました☆

(敬称略)

- ◆市学校美術展
 - 6年 岩本彩希 入選
- ◆市読書感想画コンクール
 - 1年 神代竜希 優良
 - 2年 田崎透也 優良
 - 3年 神代磨穂 優良



12月行事予定

- 1日(月) (公民館) 各種団体連絡協議会
- 5日(火) (小学校) 持久走大会
- 6日(水) (小学校) ベルマーク回収
- 9日(土) (児童園) 生活発表会
- 13日(水) (小学校) ベルマーク回収
- 14日(木) (中学校) 生徒会役員選挙
- 〃 (公民館) 一人暮らし高齢者昼食宅配
- 19日(火) (中学校) そば打ち、しめ縄作り
- 〃 (児童園) クリスマス会
- 20日(水) (小学校) 個人懇談、ベルマーク回収
- 20日(水)・21日(木) (中学校) 保護者会
- 21日(木) (小学校) 個人懇談、給食終了
- 22日(金) (小学校) 終業式
- 〃 (中学校) 終業式
- 〃 (児童園) 保育納め



◆編集後記◆

◇年頭登山の思い出◇「一」
昭和十八年元旦。熊の尾に登山。猪迫の山本さん宅前から山道に入り頂上の焚き火を目標に駆け登った。当時の山は立ち木はなく、芝草として、全面刈られていた。有馬一雄村長さん(有馬恒雄さんの父)の音頭で戦勝祈願の万歳三唱で下山。

昭和十九年元旦、炭倉山では農業組合長山田義雄さん(山田非常さんの父)の戦勝祈願の音頭で万歳三唱。戦死された両人の姿が今でも目に浮かぶ。「雑煮、しるこ」はなかった。当時の年頭登山は、熊の尾、炭倉山と、交互に実施されていたと聞く。編集子は十四歳だった。

昭和二十七年、藤井央道さん(別分)に山口の山で檜の小ざわを頂き、黒木川道を三人で運んだ。草谷(上野)田村さん記憶にあるでしょうか。忠霊塔に国旗掲揚台を青年団で設置。二年間初日を拝んだ。当時の長老から低い丘で「今の若い者はなんじゃ」と厳しい批判を受ける。

編集子 藤本